



◆◆◆◆◆

●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。
●投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

アカデメイアってどこに？

長久手市 渡辺 正

病院の再編・統合の動きが進む中で、緩和ケアにおいても、平均在院日数に よって診療報酬を区分する再改定が行われ現場は混乱しています。このため緩和ケア病棟は終末期の安心な療養場所といえなくなり、

また症状が取れたら退院となれば、全人的ケアが疎か になっていきます。一方で在宅ケアや施設での看取りが進展し、医療・介護は大 きな転換期を迎えています

領域連携の基盤に根付いてい

くことが益々望まれます。

さて六月に「ギリシャの旅」に参加しました。その目的のひとつは、プラトンの学園「アカデメイア」とアリストテレスの学園「リュケイオン」を訪ねることでした。

なぜ緩和ケアの理念に関係があるの？との疑問に対し、賢人の言葉を紹介します。プラトンは、「ヒポクラテスの言うことは正しい。けれども僕たちはさらにものの道理をたずね、ヒ

ポクラテスの言葉と一致するかどうかを調べてみなければならぬ」(『パイドロス』)と述べ、身体の本質に迫るヒポクラテスの医術の探求の仕方を高く評価しています。そのヒポクラテスは、「病気について二つのことに熟達しなければならぬい、益を与えよ、さもなければ無害であれ。医者は技術の助手である。病人は医者と協力して病気を抵抗すべきものである」(『古い医術について』)と、医療倫理のもとになる「無危害原則」と医師患者関係のあり方を述べています。

さらにアリストテレスは、「悪には過剰と不足が属するが、徳には中庸のみが属するのである。徳は本質

を言い表す定義に即していえば「中庸」であるが、最善性に即していえば『頂極』にほかならない」(『ニコマコス倫理学』)と述べています。医療では、過度でも過少でもないバランスの取れた医療こそ最善となりますが、これはACPを含め最も考えなければならぬ課題となっています。

さて二つの学園はといえば、リュケイオンは遺跡としての形を成していましたが、アカデメイアはあちこちに木があるだけの広場でした。とはいえ世界に深い影響を与えたこの場所にきたことを糧に、微力ながら緩和ケアの理念が地域で息づくように努めたいと思っています。